

区内製造業実態調査からみた「ものづくり」再生への支援策は…

日本共産党荒川区議会議員団

横山幸次

区政報告
ニュース

548
2014年8月31日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax 3806-9246
✉ arajcp@tcn-cat
v.ne.jp
町屋相談室
荒川区町屋5-3-5
3895-0504
✉ yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページ・ブログ・ツイッターをご覧ください。横山幸次で検索して下さい。

Q1-10 強化すべき区の施策 (n=1,514)



利用したことがある区の施策



「**区の支援策の周知や人員体制の強化がカギ…**」
「産業振興センター」機能設置も検討すべきです

区が昨年実施した区内全製造業調査は、今後のものづくり再生にとって基礎的資料として重要です。

区内事業所の状況は既に一部掲載しました。今回は、最も大事な点ですが、区内製造業のみならず行政・荒川区に何を望み、区は何をすべきなのかを考えることです。

まず第一に、資金調達を除

けば、販売の促進・製品開発支援をあげています。小規模経営のため独自に出来ない販路拡大などへの支援強化が求められています。

第二に、区の施策は、融資以外の認知度が低く、利用状況も低調です。手続きの煩雑さなど改善すべき点もありますが、制度内容を知らなければ利用も出来ません。広報紙やホームページだけでなく、あらゆる機会に区専門職員が支援する仕組みが大事です。

第三に、「マツク」加入企業とその他の違いです。区の施策の認知度や利用状況、今後の事業継続や高付加価値への意欲も大きな違いが出ています。これは明らかに、区の専門職員がマツク企業に日常的に接してアドバイスやコーディネートをしていく結果です。問題は、マツク加入企業だけでなく、全体にその効果を波及させる方策です。

そのためには、すべての事業者をワンストップで支援できる産業振興センター機能の整備です。その要は「ハコモノ」でなく専門職員の抜本的体制強化だと思います。

裏面 若者の実態と行政の支援策...など

定例法律相談会

9月1日(月)
午後6時～8時
横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介します。
生活相談は、随時受け付けています。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。
区役所控室 3802-4627



西尾久の大東工業(ギアポンプメーカー)を見学…モノづくりのための区の支援策のあり方を考える

先日、区内「大東工業」の工場を見学する機会を得ました。大東工業は、75年歴史を持ち、あらゆる液体を送るギアポンプを専門に製造しています。心臓部の部品製造から製品の組み立て、検査、出荷まで全行程を基本的に手作業で行っています。ギアポンプの場合、歯車はじめ高精度の部品が求められ、どうして三三次元測定器などが必要で、ところがこれまでは、区内に

「**まちの話あれこれ**」

研などに出かけていました。荒川区での産業振興センター設置の話もありましたが、今回大東工業では、自社設置に踏み切ったそうです。区内製造業のほとんど自社設置等出来ません。公的支援の強化を痛感…

横山幸次

旋盤での切削(上左)、三次元測定器など(左下)完成品の検査(右下) 忙しいときお邪魔しました...

東京の若者はどうなっているか… 荒川区も若者実態調査と支援強化を



荒川区の若者就労支援事業

わかもの就労サポートデスク（個別相談）

相談員がキャリアカウンセリングや就職活動に関するアドバイス、就職前後の悩み相談等に対応。

開所時間 午前10時から午後6時まで（土・日、祝を除く）

場所 荒川区荒川七丁目50番9号 センターまちや3階

問い合わせ電話：03-3800-6188

若者向け就労支援セミナー

毎月2回実施 申し込みや詳細については

区のホームページ、就労支援課 電話：03-3800-8710

就活バスツアーなどあります…

いま、ブラック企業やブラックアルバイトといった異常な働き方、高すぎる学費や卒業と同時に奨学金の多額の返済など、現在の若者は、きわめて厳しい環境に置かれています。また内閣府の調査でも出現率が1・79%とされる「引きこもり」問題なども深刻です。東京の若者実態（下左表）から推測すると3万人に及ぶこととなります。引きこもりの原因が、就労でつまずきが多いという結果も出ています。

いまこうした若者が置かれた実態を行政でもつかみ、就労から「引きこもり」対策まで実施する取り組みが広がっています。新宿区では、区内の若者実態調査の実施とともに心理カウンセラーなども配置した就労支援室を設置、足立区での若者正規雇用マッチング事業・若者就労準備支援などの先進例が注目されています。荒川区にもわかもの就労サポートデスクがあり、実態調査の実施や心理カウンセラーなど専門家の配置など支援体制の抜本強化が求められています。

東京の若者の実態（25歳から34歳の人口）

人口 2012年	無業	有業	有業				雇用 役員除く
			自営	家族 従業者	会社役 員		
東京	1,951,900	301,400 15%	165,500 85%	45,300 3%	7,000	18,400	1,571,000 95%
荒川	27,767	?	?	?	?	?	?
全国	14,832,300	2,796,700 19%	12,035,500 81%	317,500	93,000	128,800	114,635,000 95%

みなさんのご意見をお寄せください！

荒川区議会9月会議の日程（予定）



区議会は、9月11日から10月15日まで開催されます。通年議会になったので正確には「会議の再開」ということです。

また来年の予算編成に関わる決算特別委員会も開かれます。長丁場ですが、区民の切実な願い、そして20を超える区内団体のみなさんからいただいたご意見など、区民の声で区政を動かし区民要求実現に全力を尽くします。

9月11日、12日 10時から 本会議
（共産党区議団の質問は、11日相馬議員、12日斉藤議員 質問開始時間は未定です）

9月17日 総務企画、福祉区民 各常任委員会

9月19日 文教子育て、建設環境 各常任委員会

（常任委員会はいずれも10時から）

9月26・29・30日、10月2、3、6、7、9日
の10時から15時 決算特別委員会

10月15日 10時から本会議

（最終日）

ぜひ傍聴にお出かけください！



2013年度一般会計決算の概要について 決算剰余金(黒字)は約24億円…

区長が荒川区議会提案する議案内容がほぼ明らかになりました。ふれあい館など多くの施設の指定管理者の指定、そして、子ども子育て新制度の関わる条例制定などがあります。



同時に、最も大きな議案は、2013年度の荒川区決算についてです。荒川区のお金の使い方が、真に区民の暮らし福祉を支えるために使われているのか、区政執行状況をチェックする議会になります。

ちなみに、2013年度決算では、決算剰余金(黒字)が24億円となっています。区はこの内約17億円を基金に積み立てる補正予算も提案するとしています。下表にある2013年末の基金=貯金残高に17億円を加えると約270億円近くの基金積み立てになります。荒川区は、区民への十分な説明や教育効果の検証もなく大型複合施設建設やタブレット全児童生徒配布を進めています。区の施策の優先順位が問われています。

区の基金(貯金)の残高 (単位:百万円)

	財政調整	減債基金	その他	合計残高
2012年度末	12,344	2,239	10,448	25,030
2013年度末	13,140	2,244	9,268	25,052